

## スポーツ関連食品市場を調査

プロテインパウダー、プロテインドリンクなどがけん引、大きな伸び続く

—2019年国内市場見込（2018年比）—

●プロテイン 505億円（6.8%増）

～トップアスリートだけでなくスポーツ入門者や女性までユーザー広がる～

●スポーツ関連食品 4,517億円（0.3%増）

～冷夏によるダメージはあるもプロテインブームがけん引し堅調な伸び～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、スポーツへの関心の高まりやユーザー層の広がりによって需要が増加している、スポーツ関連食品の国内市場を調査した。その結果を「[「スポーツサプリメントからダイエット食品までアクティブ&ウェルネスフーズ市場 2020」](#)にまとめた。

この調査ではスポーツ関連食品として、スポーツシーンで摂取されるスポーツ用食品、スポーツには限定しないもののスポーツ用食品と同じ成分の非スポーツ用食品、スポーツシーンで摂取されるスポーツドリンク・機能性飲料の市場規模、メーカーシェア、これらを販売するチャネル（スポーツ店、スポーツクラブ、ドラッグストアなど）ごとの販売額や今後の取り扱い意欲などについても調査した。

スポーツ関連食品のユーザーは、かつてはごく一部のトップアスリートやスポーツ競技者に限られていたが、幅広い消費者にスポーツ時における摂取の重要性が理解されてきたことで徐々に増加してきた。

特に2015年以降は、プロテインにおいて一部のユーザーだけでなくスポーツ入門者、女性なども含めたライトユーザーまで飲用層が広がりプロテインブームが発生し、好調な伸びとなっている。

### <調査結果の概要>

#### ■スポーツ関連食品市場

| カテゴリー          | 2019年見込 | 2018年比 |
|----------------|---------|--------|
| スポーツ用食品        | 512億円   | 107.8% |
| 非スポーツ用食品       | 1,654億円 | 99.3%  |
| スポーツドリンク・機能性飲料 | 2,351億円 | 99.6%  |

スポーツ用食品市場は、ユーザーの広がりで好調な伸びが続くプロテインや、メガブランドを始め、商品数の増加で活性化しているスポーツ用パウチゼリーなどによって好調に伸びている。

非スポーツ用食品市場は、非スポーツ用プロテインや非スポーツ用アミノ酸などの需要がスポーツ用にシフトしていることもあり微減するとみられる。

スポーツドリンク・機能性清涼飲料市場は天候の影響を受けやすく、2018年の猛暑から一転して2019年は冷夏だった影響もあってマイナスとみられる。

<注目市場>

| 品目         | 2019年見込伸び率<br>(2018年比) |
|------------|------------------------|
| スポーツ用プロテイン | 111.7%                 |
| プロテインドリンク  | 189.6%                 |
| ニュートリションバー | 102.7%                 |
| HMBサプリメント  | 107.9%                 |

2019年のプロテイン市場は505億円(2018年比6.8%増)と見込まれ、そのおよそ三分の二を占めるのがスポーツ用プロテインである。スポーツ用プロテインは、一握りのヘビーユーザーだけでなくライトユーザー、スポーツ入門者、ダイエット志向の女性といった層も取り込むことに成功し、爆発的なユーザー増となっており、特に海外ブランドが伸びている。

プロテインドリンクは、ライトユーザーをターゲットとしつつも幅広い需要を取り込んだ商品のヒットによって2017年から大幅な市場拡大が続いている。

ニュートリションバーは、プロテインバーが相次いで投入されたことや海外ブランドが増加していることから堅調な市場推移となっている。

HMB(βヒドロキシβメチル酪酸)サプリメントは、新規参入が相次いだことで市場は急拡大を遂げてきた。2018年はトップメーカーが撤退したことで一時的に縮小したものの、需要増加は続いており2019年は拡大に転じるとみられる。

<調査対象>

| 商品市場編                            |  |
|----------------------------------|--|
| 1. プロテイン                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ用プロテイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. ホエイプロテイン、b. 大豆プロテイン、c. カゼインプロテイン、</li> <li>d. ジュニア向けプロテイン、e. 女性向けプロテイン</li> </ul> </li> <li>・非スポーツ用プロテイン</li> </ul>   |
| 2. アミノ酸                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ用アミノ酸                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. BCAA</li> </ul> </li> <li>・非スポーツ用アミノ酸</li> </ul>   |
| 3. その他サプリメント                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ用ビタミン・ミネラル</li> <li>・スポーツ用その他サプリメント                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. クレアチン、b. 関節用サプリメント、c. クエン酸、d. HMB</li> </ul> </li> </ul>   |
| 4. スポーツドリンク・機能性飲料                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツドリンク(止渴目的)</li> <li>・スポーツドリンク(燃焼・疲労回復目的)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. アミノ酸ドリンク、b. BCAAドリンク</li> </ul> </li> <li>・プロテインドリンク</li> <li>・その他機能性清涼飲料</li> </ul>  |
| 5. パウチゼリー                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ用パウチゼリー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. スポーツ用プロテインゼリー、</li> <li>b. スポーツ用エネルギーゼリー、エネルギージェル</li> </ul> </li> <li>・非スポーツ用パウチゼリー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 非スポーツ用プロテインゼリー、b. 非スポーツ用エネルギーゼリー</li> </ul> </li> </ul> |
| 6. MRP※                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ用MRP</li> <li>・非スポーツ用MRP</li> </ul>  |
| 7. ニュートリションバー                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ用ニュートリションバー</li> <li>・非スポーツ用ニュートリションバー</li> </ul>  |
| チャネル事例編                          |  |
| スポーツ店、スポーツクラブ、ドラッグストア、量販店など6チェーン |  |

※ミールリプレイスメントパウダー・食事代替粉末飲料

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2019年9月～12月

以上

|             |   |                                 |  |
|-------------|---|---------------------------------|--|
| 資料タイトル :    | <a href="#">「スポーツサプリメントからダイエット食品までアクティブ&amp;ウェルネスフーズ市場 2020」</a>                  |                                 |  |
| 体 裁 :       | A4判 193頁  |                                 |  |
| 価 格 :       | 書籍版   | 360,000円+税                      |  |
|             | 書籍/PDF+データ版セット  | 400,000円+税                      |  |
| 発 行 所 :     | 株式会社 富士経済   |                                 |  |
|             | 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通   |                                 |  |
|             | TEL : 03-3664-5811 (代)  | FAX : 03-3661-0165              |  |
|             | URL : <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a> | e-mail : info@fuji-keizai.co.jp |  |
| 調 査 ・ 編 集 : | 東京マーケティング本部 第二部   |                                 |  |
|             | TEL : 03-3664-5821  | FAX : 03-3661-9514              |  |

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/press/>